

経営情報科学研究科 博士前期課程 経営情報科学専攻

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

学則に定める期間に在学し、所定の単位を修得し、修士論文の審査及び学力試験に合格すること。さらに、以下に掲げる素養を持つ者に修士(経営情報科学)の学位を授与する。

- 1 ビジネス諸問題に関する経営学及び情報科学の高度な専門知識と論理的思考力に強い関心と興味を持ち、積極的に活用する姿勢が備わっていること。
- 2 専門知識、研究成果等を社会に還元することができる、コミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力が十分に備わっていること。
- 3 基礎的な理解に根ざした応用力及び問題解決能力が備わっていること。
- 4 問題解決のために、高い協調性と倫理観をもって自ら行動できること。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、経営学及び情報科学の高度な専門知識と論理的思考力、実践的能力、問題解決能力の修得及び豊かな人間性の涵養を目指し、以下のとおり教育課程を編成のうえ実施する。

1 高度な専門知識の修得

経営システム関連分野では、経営の全体像を把握するための基幹科目及び、経営の各側面を把握するためのマネジメント系、アカウントティング系、マネジメント・サイエンス系の専門科目を体系的に配置する。情報システム関連分野では、基幹技術としての情報システムを把握するための情報科学の基礎知識、コンピュータとネットワークの基礎知識及び情報セキュリティの知識に関する各科目を配置する。さらに、経営システムと情報システムの統合に必要な各種知識を把握するための科目を体系的に配置する。

2 論理的思考力及び問題解決能力の修得

「特別演習」と「特別研究」を配置することで、経営にまつわる諸課題の発見、分析及び解決に必要な論理的思考力、情報処理能力及び意思決定能力を強化し、実践的な問題解決能力を培うことを目指す。本科目の実施により、研究方法論を習得し、学術的探究に必要なスキルを育成のうえ、独自の視点から研究課題を設定し、新たな知見を生み出す能力を養成する。

3 コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の強化

配置された各専門科目及び「特別演習」「特別研究」における発表・討論を通じて、専門知識や研究成果を効果的に伝達し、社会に還元するためのコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力を向上させる。

4 協調性と高い倫理観の涵養

全ての配置科目及びゼミ・研究室における教育活動を通じて、高い協調性と倫理観を持って自ら行動する能力を養成する。また研究倫理教育を通じて、社会的責任を自覚した研究者・実務者としての実践的な応用力を養成する。

学位論文に係る評価の基準

○ 審査委員の体制

- ・大学院教授会において、当該専攻から研究指導教員を含む3名以上の教員を選出し、学位審査委員会を組織する。
- ・学位審査委員会に主査と副査を置き、主査は研究指導教員から選出する。
- ・学位審査委員会が必要と認めた時は、本学大学院の他の専攻又は他の大学院等の教員等を学位審査委員会に加えることができる。

○ 審査の方法

- ・専攻で開催される論文発表会にて、学位審査委員により審査を行う。

○ 審査項目及び評価基準

修士論文の評価は、以下の項目の基準によって行われる。

- ・新規性：研究の内容にオリジナリティがあるか
- ・進歩性：先行論文を十分に渉猟し、先行研究に対して十分に進歩した位置づけとなっているか
- ・有用性：研究の成果が社会的課題の解決や実務への応用に十分寄与するものであるか
- ・論理性：問題提起から結論の導出までの議論が論理的に展開されているか
- ・明確性：明解かつ適切な表現で論文が書かれているか
- ・信頼性：専攻で開催される論文発表会で相応しい発表、検討が成されたか

○ 学位論文が満たすべき水準

- ・上記の審査項目を総合的に評価し、全て満たすと学位審査委員会が判断し認められた場合、修士論文として合格とする。

(1) 専門分野

経営諸問題について、情報技術などの高度な専門を活用して、経営に関わる情報を迅速に収集・分析し、それらを基に経営諸問題の解決に取り組み、適切に問題解決ができる高度専門職業人や研究マインド保有者および博士後期課程進学者を養成する。

専門分野	内容／担当教員
経営システム関連	本経営システム関連分野は位置づけを基幹科目、マネジメント系専門科目、アカウントティング系専門科目、マネジメント・サイエンス系専門科目の4つに識別している。まず、経営の全体像を把握するために、基幹科目として「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」、「経営組織論」、「グローバルビジネス論」、「経営戦略論」、「財務会計論」などを、専攻共通講義に配置している。つぎに、経営の各側面を把握するために、マネジメント系、またアカウントティング系、そしてマネジメント・サイエンス系という3つの専門科目を、特論に配置している。マネジメント系専門科目には、「生産マネジメント・システム論」、「ヒューマンリソース・マネジメント論」、「マーケティング・マネジメント論」、「技術経営戦略論」、「ベンチャー・ビジネス論」などを配置している。アカウントティング系専門科目には、「原価計算論」、「経営分析論」、「管理会計論」などを配置している。マネジメント・サイエンス系専門科目には、「オペレーションズ・リサーチ」、「意思決定論」などを配置している。また情報システム関連分野の履修を踏まえつつ、「特別演習」と「特別研究」さらにはインターンシップの履修を通じ、経営諸問題・諸課題の発見、その問題解決に必要な情報処理能力、意思決定能力、そして管理能力の発揮に必要な統合能力およびリーダーシップを修得することができる。 石井 成美、後藤 時政、加藤 里美、服部 洋兒、吉成 亮、仁科 健、丸山 恭司、山田 裕昭、柊 紫乃、羽田 裕、水谷 聡志、野中 尋史、安田 正義、福澤 和久
情報システム関連	本情報システム関連分野は情報システム分野のソフトウェア技術の基礎教科として「コンピュータ基礎論」を学び、院生の基礎学力を育成し、経営システム分野の中で基幹技術としての新しい情報システム技術の展開に力点を置くところに本課程編成の特色を有している。教育研究分野として、情報科学の共通基礎として重要となる「数理計画法」「応用確率統計論」、情報システム分野のコンピュータとネットワークの基礎としての「データベース論」、「ネットワーク論」、これらの情報システムおよびネットワーク情報の保護のための「情報セキュリティ論」を配置する。また、近年の経営システムと情報技術の発展統合のために必要な基礎技術となる「メディアコンピューティング」、「量子情報科学基礎論」、「情報センシング概論」、「コンピュータ・グラフィックス論」、「コミュニケーションとコンピューテーション論」、「システム・セーフティー論」、「コンピュータビジョン」、「多変量解析及び大規模計算論」を配置する。基礎科目群、経営システム関連分野の履修を踏まえつつ、「特別演習」と「特別研究」さらにはインターンシップの履修を通じ、経営諸問題・諸課題の発見、その問題解決に必要な情報処理能力、意思決定能力、そして管理能力の発揮に必要な統合能力およびリーダーシップを修得することができる。 伊藤 雅、小野木 克明、鈴木 晋、中村 栄治、森本 正志、伊藤 暢浩、河辺 義信、菱田 隆彰、水野 慎士、水野 勝教、塚田 敏彦、北坂 孝幸、山本 貴史、内藤 克浩、徳久 良子、澤野 弘明、松河 剛司、梶 克彦、内種 岳詞、玉森 聡、小栗 真弥

(2) 科目一覧

	科目 コード	科 目 名	単位数		毎週授業時間数				備 考	教職科目		
			必修	選択	1 年次		2 年次			情報	商業	
					前	後	前	後				
専 攻 共 通 講 義	B7201	マクロ経済学		2	1		1				○	
	B7202	ミクロ経済学		2	1		1				○	
	B7242	応用確率統計論		2	1		1			○		
	B7255	グローバルビジネス論		2	1		1				○	
	B7207	経営戦略論		2	1		1				○	
	B7208	経営組織論		2	1		1				○	
	B7239	知的財産権		2		1		1		○		
	B7243	コンピュータ基礎論		2	1		1			○		
	B7224	データベース論		2	1		1			○		
	B7244	ネットワーク論		2		1		1		○		
	B7258	財務会計論		2	1		1				○	
		計		0	22	修了要件6単位以上						
特 論	経営システム 関連分野	B7211	経営システム論		2	1		1			○	
		B7254	品質マネジメント論		2		1		1		○	
		B7213	生産マネジメント・システム論		2		1		1		○	
		B7214	ヒューマンリソース・マネジメント論		2	1		1				○
		B7215	ロジスティクス・システム論		2		1		1		○	
		B7216	マーケティング・マネジメント論		2	1		1			○	
		B7217	オペレーションズ・リサーチ		2		1		1		○	
		B7218	ベンチャー・ビジネス論		2		1		1			○
		B7240	システム・マネジメント論		2		1		1		○	
		B7245	技術経営戦略論		2		1		1			○
		B7246	意思決定論		2		1		1			○
		B7209	管理会計論		2		1		1			○
		B7230	経営分析論		2	1		1				○
		B7232	監査論		2	1		1				○
		B7234	リスクマネジメント論		2		1		1			○
		B7250	原価計算論		2	1		1				○
	情報システム 関連分野	B7256	量子情報科学基礎論		2	1		1			○	
		B7257	情報センシング概論		2		1		1		○	
		B7222	メディアコンピューティング		2	1		1			○	
		B7248	コンピュータ・グラフィックス論		2		1		1		○	
		B7249	情報セキュリティ論		2		1		1		○	
		B7227	数理計画法		2		1		1		○	
		B7237	コミュニケーションとコンピューテーション論		2		1		1		○	
		B7253	システム・セーフティー論		2	1		1			○	
		B7252	コンピュータビジョン		2		1		1		○	
		B7259	多変量解析及び大規模計算論		2	1		1			○	
		計		0	52	修了要件12単位以上						
演 習・ 特別 研究	B7104	特別演習（経営システム関連分野）	6		通年					○	○	
	B7108	特別演習（情報システム関連分野）	6		通年					○	○	
	B7105	特別研究（経営システム関連分野）	6		通年					○	○	
	B7109	特別研究（情報システム関連分野）	6		通年					○	○	
	B7236	ワークショップ		2	別途定める							
	B7235	インターンシップ		2	別途定める							
		計	24	4	修了要件12単位以上							

履修期は基本的な開講学年学期とし変更する場合がある。
基本的に1年次及び2年次の合同授業とする。

(3) 履修方法

- ・特別演習及び特別研究は、2年間継続して、各6単位修得するものとします。
- ・指導教員が適当と認めた時は、他研究科、他専攻又は学部の授業科目を履修することができます。これにより取得した単位は4単位以内に限り、修了に必要な所定の単位に充当することができます。

(4) 修了要件

- ・博士前期課程に2年以上在学していること。
- ・所定の単位を修得していること。
- ・必要な研究指導を受けていること。
- ・修士論文の審査及び試験に合格していること。
- ・博士前期課程の在学期間に関しては、大学院において優れた業績をあげたと認めた者については、大学院に1年以上在学すれば足りるものとします。
- ・当該博士前期課程の目的に応じ適当と認めるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができるものとします。

【所定の単位】

専攻共通講義	6単位 以上
特論	12単位 以上
演習・特別研究	12単位 以上
合計	30単位 以上